

聴覚障害

聴覚障害の方には、人の声や物音がまったく聴こえない、または聴こえにくい^{はな}ため、話し言葉でのコミュニケーションや音声での情報^{じょうほう}を得ることに不自由^{ふじゆう}があります。

「生まれつき聴こえない（ろう）」、または「病気や事故、加齢のため聴こえない（難聴・中途失聴）」など、原因の違^{ちが}いによってコミュニケーションの取りかたにも違^{ちが}いがあり、手話ができない方^{しゅわ}や筆談では理解^{りかい}することが難^{むずか}しい方^{かた}などもあります。

※聴覚障害に関する相談

障害者総合支援センター（ウェルポート）など……P.32～参照

必要な配慮等

- 電話での連絡が難しいので、ファクスやEメールなどの連絡先を明示する。



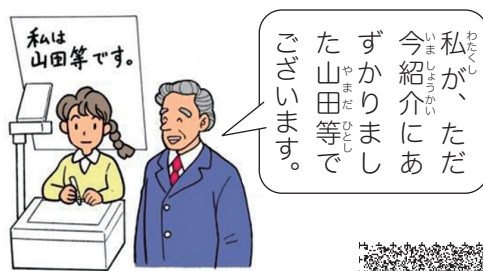
- 筆談やコミュニケーションボードの利用、身振りや手話など、情報発信の仕方を工夫する。



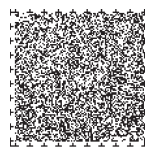
- 筆談する際は、できるだけ簡単に書き、質問は「はい」「いいえ」で答えられる形にする。



- 講演会や研修会などでは、手話通訳・要約筆記※4の活用など情報発信の仕方を工夫する。



※4の用語の説明……P.31 参照



事例など

- ◆生活に必要な手続きに関する案内などに、問合せ先として電話番号しかなく、電話ができないので、問い合わせできなかった。

必要な配慮



問合せ先は、電話以外にファクス番号やEメールアドレスなどを掲載するなどいくつかの問合せ方法を用意する。



- ◆重要な会議だったので、会社に手話通訳や要約筆記を頼んだが、断られ、会議の内容が全くわからなかった。

必要な配慮



重要な会議などでは、特に手話通訳や要約筆記を活用したり、事前に会議内容を知らせ、意見を聞いておく、会議の経過について筆談で伝えるなどの配慮が必要です。



寄せられた好事例

- ◆買い物の時に、用意されていたホワイトボードを使って商品説明等をしてもらい、助かりました。

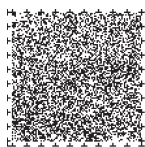


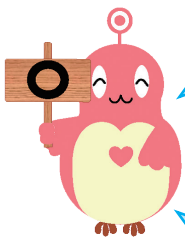
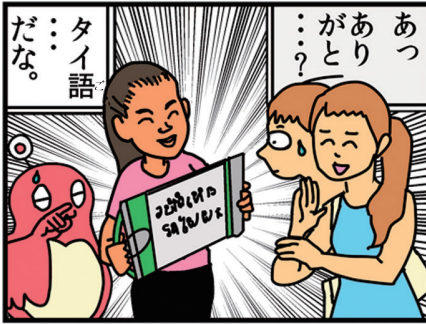
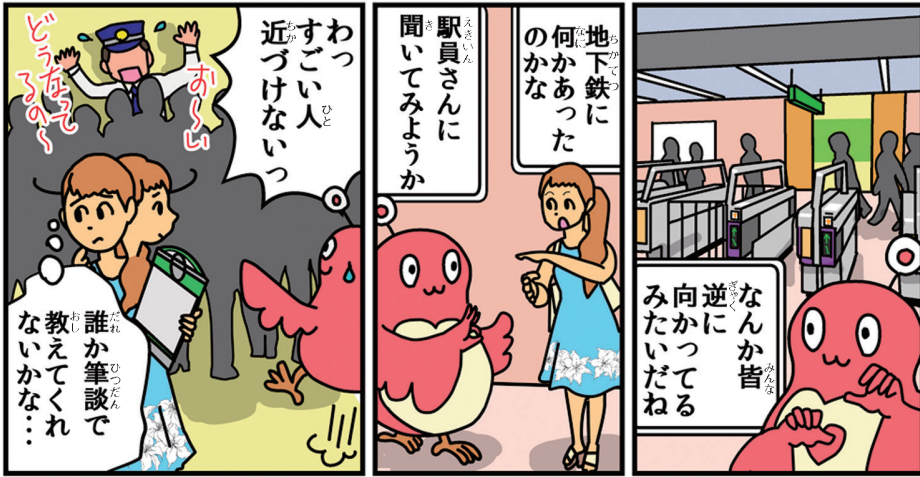
助かりました！

耳の不自由な方は筆談しますのでお申し出ください。



聞こえが不自由なことを表す「耳のシンボルマーク」です。

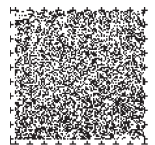




電車やバスなどのアナウンスが聴こえない（聴こえにくい）ので、何が起っているのかわかりません。

状況が分からず、困っている様子を見かけたら、メモなどに内容を書いて声をかけてください。

貼紙の掲示や身振り、説明カードなど、見てわかるような情報提供が必要です。
筆談する時は、要点を短く簡潔に書きましょう。



もう 盲ろう

視覚と聴覚の両方に障害がある状態を「盲ろう」と言います。

視覚障害と聴覚障害、それぞれの障害の程度によって、「全く見えないし聴こえない」「全く見えないが少し聴こえる」「少し見えるが全く聴こえない」「少し見えて少し聴こえる」など、人により状況が大きく異なります。

盲ろうの状態になる経緯も様々ですが、社会参加をするためには、情報入手・コミュニケーションの支援や移動の介助が不可欠です。

※盲ろうに関する相談

障害者総合支援センター（ウェルポート）など………P.32～参照

必要な配慮等

●その人によって、コミュニケーションの仕方が違うため、必要な配慮やコミュニケーション方法を確認する。

●相手の手のひらに指先などで直接文字を書く。
（手書き文字）

●少し見える人には、大きな文字での筆談で。



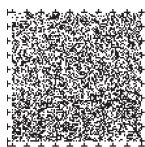
●少し聴こえる人には、耳元ではっきりゆっくり話す。
（大きな声で話すとかえって聞きにくい場合がある）

こんなことで困っています

◆見えない、聴こえないために、災害などの情報がテレビやラジオなどから得られないので、直接伝えてもらわないと分からない。

寄せられた好事例

◆金融機関のATMで、音声ガイドのほかに点字で操作できるものがあり、音声ガイドやタッチパネルが使えなくても、自力で操作でき助かります。



肢体不自由

手や足などの機能が病気やケガなどで損なわれ、長期にわたり、歩行や食事、入浴等の日常生活動作に困難が伴う状態です。

障害の部位や状況によってかなり個人差があり、「日常生活動作にさほど困難を感じない方」や、「日常生活動作に支障があるために杖や車イス、義手・義足などの補装具を必要とする方」、「日常生活動作の多くに介助を必要とする方」など、さまざまです。

※肢体不自由に関する相談

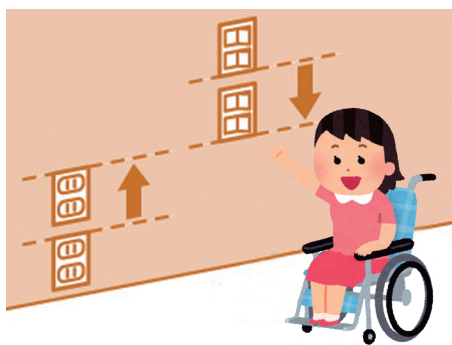
障害者総合支援センター（ウェルポート）など………P.32～参照

必要な配慮等

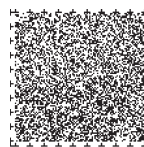
- 障害の部位や障害の状況、使用している補装具等により、必要な配慮は様々ですが、車イスの利用等のため、段差などに配慮が必要。



- 車イスの利用をしている方は、高いところに手が届きにくいことから、手の届く範囲に、物の配置やスイッチの位置を配慮する必要があります。



- 脳性まひなどで言語障害がある方の場合にも、同行している介助者ではなく本人に意思を確認する。発語が聞き取りにくい場合には、聞き直して確認する。



事例など

- ◆ 欲しい商品が手の届かない高いところにあり、取ってもらいたいと店員に頼んだが、「忙しいから」と無視され、対応してもらえず、商品の購入をあきらめた。

必要な配慮

高いところに手が届かないので、商品などの位置はなるべく手の届く範囲に配置し、申出があった場合には、商品のお渡しなどに応える必要があります。



- ◆ 店の入り口に段差があり、車イスで入れない。

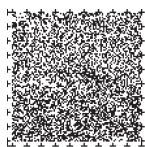
必要な配慮

段差への簡易スロープの設置や人的な補助で対応できる場合は配慮してください。物理的な対応が難しい時には、その理由等を丁寧に説明し、代替りの手段があるか相談するなど話し合いが必要です。



こんなことで困っています

- ◆ 車イス用駐車スペースに一般の車が停まっていて、駐車できない。
- ◆ 店舗の入口や通路などに自転車などがあり、通れない。
- ◆ 歩行が不安定なため杖を使用しているが、エスカレーターで、隣を通り過ぎる人がいると転びそうになる。



内部障害

内部障害は、病気などで身体の一部（心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸）の働きが弱くなったり、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能の障害です。

継続的な医療的ケアが必要な人も多く、日常生活に支障が出る場合があります。外見からはわかりづらいことが多いので、公共交通機関の優先席の利用や障害者用トイレを利用する時など、「健常者なのに…」などと誤解されることがあります。

※内部障害に関する相談

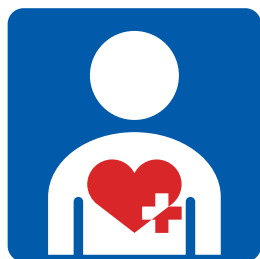
障害者総合支援センター（ウェルポート）など……P.32～参照

必要な配慮等

●職場では、本人の体調や通院等に配慮し、出退勤時間・休憩時間等を調整するなどの配慮が必要です。

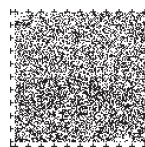
こんなことで困っています

- ◆病気により、疲れやすいため、バスの優先席に座ったところ、運転手から注意された。
- ◆心臓にペースメーカーを入れているので、混雑した場所で、携帯電話を使用されると不安。
- ◆オストメイト（人工肛門・人工膀胱を造設している方）用の掲示がないと、車イス用トイレの使用がしづらい。
- ◆HIVについての正しい理解がなく、偏見がある。



ハート・プラスマーク

「身体内部に障害がある方」
を表すマークです。



知的障害

おおむね 18 歳までの発達期に知的な能力の遅れがあらわれ、日常生活や社会生活への適応のしにくさがあります。障害の状況は軽度から重度まで様々で、1人で行動できる人もいれば、支援者の同行が必要な人もいます。

重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している状態を重症心身障害といいます。

※知的障害に関する相談

北部・南部発達相談支援センター（アーチル）など………P.32～参照

必要な配慮等

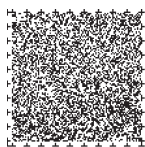
- 難しい言葉ではなく、簡単な言葉で短く説明する。
- 絵や写真、実物などを見せて話をすると状況を理解しやすい。
- 本人が理解しているか、確認しながら話をすすめる。
- 文章の読み書きができる人でも、分かりやすい表現で、簡潔にし、漢字にはふりがな（ルビ）を付ける。
- 言葉での意思表示が難しい場合には、コミュニケーションボードなどを活用し、意思を確認する。

事例など

◆ 生活に必要な手続きに行ったが、パンフレットは漢字が多く、分からない言葉ばかりで、説明もしてくれず、手続きできなかった。

必要な配慮

ルビ付きの資料で本人に分かりやすく説明し、手続きの方法を丁寧に伝える配慮が必要です。



発達障害

脳機能の発達が関係する生まれつきの障害です。

発達障害がある人は、コミュニケーションや対人関係をつくることに苦手です。自閉症などの広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害や学習障害などがあります。

知的な遅れがある場合とない場合があります、言葉が話せる人でも他者とのコミュニケーションや自分の状況等を説明することが難しい人がいます。また、大きな声や雑踏、騒音、光の刺激等に敏感で、苦痛に感じる場合があります。

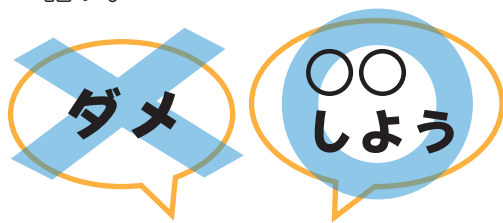
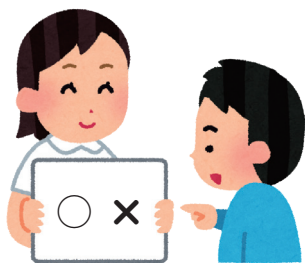
このような状態を周りの人に理解してもらえず、親のしつけや本人の努力不足が原因と誤解されることがあります。

※発達障害に関する相談

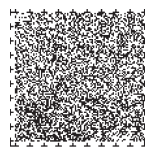
北部・南部発達相談支援センター（アーチル）など………P.32～参照

必要な配慮等

- コミュニケーションが苦手な人には、言葉より絵、文字、写真、実物などを使う。
- 否定的な言動に過敏な人が多いので、できるだけ肯定的な言い方で話す。



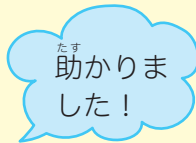
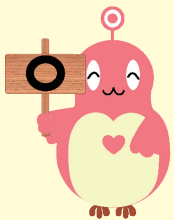
- 見通しが持てないと、不安になるので、スケジュールなどで1日の流れを伝える。急な変更は理由を伝え、本人に理解を得る。
- 聴覚が過敏な人には、ヘッドホンの使用を認めたり、静かな場所を準備する。また、視覚が過敏な方にはサングラスの使用を認めるなど、本人の特徴に応じた配慮をする。
- 職場などで集中できず、落ち着かない場合、パーテーションなどを活用するなどして、落ち着く場所を確保する。



事例など

寄せられた好事例

- ◆ 病院の受診時、待ち時間の見通しが持てないと不安で、パニックになってしまうので、あらかじめ予約でき、おおよその受診時間の目安がわかる病院は、本人も家族も助かっている。
- ◆ たくさんの方がいる待合室が苦手なため、別の部屋や自家用車の中で待たせてもらい、順番がきたら声をかけてくれる配慮をしてくれる病院は大変助かっています。



〇〇さん
じゅんばん
順番です。

こんなことで困っています

- ◆ 職場などで、会話ができるために、普通に何でもできると誤解され、障害があることを理解してもらえず、配慮してもらえない。
- ◆ 会社で、本人への指示が「工夫して」などあいまいな表現だと、仕事の進め方が分からずに、上司に何度も確認してしまい、怒られてしまう。

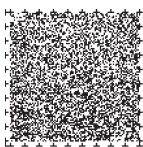
必要な配慮



抽象的な指示やあいまいな指示の理解が苦手なため、具体的な見本や工程表に写真を付けるなど、視覚的な手がかりを提供するなどの配慮が必要です。

仕上げの手順
〇〇〇〇〇〇〇〇
仕上げの見本

仕上げは
きれいに

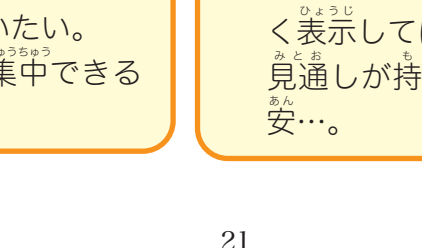
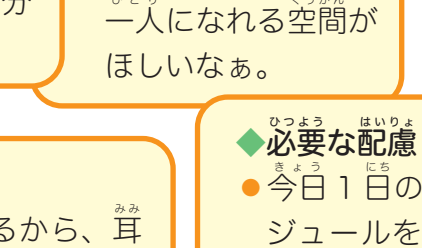
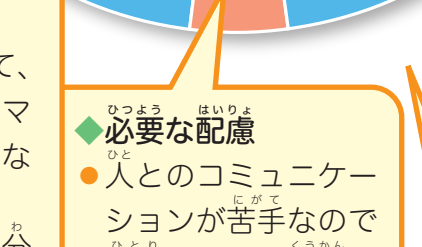
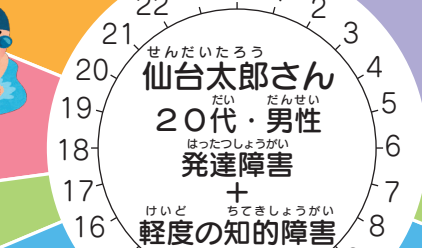


- ◆ 親のしつけが悪いと言われ、親はつらい思いをしてしまう。

せいかつ なか ひつよう はいりよ
生活の中で必要な配慮など

◆ **困ったこと**

- 付添いがなくてもプールの利用ができるのに、障害者手帳を見せたら一人での利用を断られそうになったよ。



◆ **必要な配慮**

- 事故で運休した案内が分からなくて、ずっと待って遅刻したよ。わかりやすい貼紙があったり、困ってる様子に声をかけてもらえたら良かったのに。



◆ **必要な配慮**

- 作業手順について、図や写真を使ったマニュアルや具体的な指示がほしいな。「工夫して」では分からないよ。

◆ **必要な配慮**

- 人とのコミュニケーションが苦手なので一人になれる空間がほしいなあ。

◆ **必要な配慮**

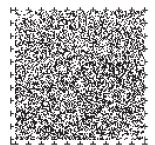
- 行先の表示の文字などを大きくして、ふりがなをつけてもらえると迷わずに乗れるよ。

◆ **必要な配慮**

- 感覚過敏があるから、耳栓や衝立を使いたい。それで仕事に集中できるんだけど。

◆ **必要な配慮**

- 今日1日の仕事のスケジュールを分かりやすく表示してほしいな。見通しが持てないと不安…。



せいしんしょうがい 精神障害

とうこうしつちょうしょう びょう せいしんしつかん ひび せいかつ しごと たい
統合失調症やうつ病などの精神疾患により、日々の生活や仕事、対
じんかんけい さまざま せいかつ かか せいしんしつかん
人関係などにおいて、様々な生活のしづらさを抱えています。精神疾患
しょうがい つう じん ひとり が かかるとも けつ まれ びょうき
は生涯を通じて5人に1人がかかるとも言われていて、決して稀な病気
ではなく、だれ かのうせい
誰でもかかる可能性があります。

てきせつ ちりょう ふくやく しょうじょう ちいき なか
適切な治療や服薬によって症状をコントロールできれば、地域の中で
あんてい せいかつ おく せいしんしつかん しょうじょう しゃかいてきけい けん
安定した生活を送ることができますが、精神疾患の症状や社会的経験の
すく せいかつ びょうき たい へんけん ごかい
少なさからくる生活のしづらさのほか、病気に対する偏見や誤解によっ
て しょう せいかつ
て生じる生活のしづらさもあります。

※せいしんしょうがい かん そうだん 精神障害に関する相談

せいしんほけんふくしそごう さんしょう
精神保健福祉総合センター（はあとぽーと）など……………P.32～参照

ひつよう はいりよなど 必要な配慮等

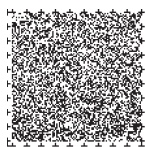
- じぶん たいちよう へんか き しょうず きゅうけい と にがて
自分の体調の変化に気づいて上手に休憩を取ったりすることが苦手なので、
ひび せいかつ しごと かつどう りょう きゅうけいじかんなど ちょうせい
日々の生活においては、仕事や活動の量・休憩時間等を調整するなどの
はいりよ ひつよう
配慮が必要です。
- はじ ばしょ しょうたいめん ひと はなし ばもん ひじょう きんちよう
初めての場所で、初対面の人と話をするような場面では非常に緊張してし
まいます。てつづ まどくち とまど とき
手続きのための窓口などで戸惑っているような時には、早めに
やさしく こえ ようけん き はいりよ ひつよう
やさしく声をかけて用件を聞くなどの配慮が必要です。

じれい 事例など

- ◆ びょうき しょうじょう つか しゅうちゅう
病気の症状で、疲れやすかったり集中しにく
いとき せいごと とくく しょうきよう なみ
い時があるなど、仕事の取り組み状況に波が
あり、じょうし なま しつせき
あり、上司から怠けていると叱責された。

ひつよう はいりよ 必要な配慮

- じょうし どうりょう びょうき とくちよう しょうじょう
上司や同僚に病気の特徴や症状を
りかい ほんにん
理解してもらいながら、本人の
びょうじょう たいちよう あわ きゅうけいじかん きんむじかんなど ちょうせい
病状や体調に合わせて、休憩時間や勤務時間等を調整するなど
の はいりよ ひつよう
配慮が必要です。
- しごと てじゆん しゅうい ささい へんか こんらん りんきおうへん
仕事の手順や周囲の些細な変化に混乱しやすく、臨機応変に
たいおう いたおう にがて ぐたいてき わ ことば せつ
対応することが苦手なので、具体的で分かりやすい言葉で説
めい
明するなどの はいりよ ひつよう
配慮が必要です。

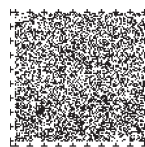


こんなことで困っています

- ◆ 体調が悪い時は、とても疲れやすく、自分一人で調理や掃除、買い物などができない。
- ◆ 薬局で「おくすり手帳」を出したら、服薬している薬の内容を見たあと、急に態度が変わって、随分雑な扱いを受けた。
- ◆ 精神障害があると分かっただけで、誤解されたり、変な目で見られる。
- ◆ 入院の際、「精神障害者の隣に寝るのは嫌で、病室を変えた」という話を後で聞いてショックを受けた。
- ◆ てんかんのある児童が、何年も発作がなく、主治医からも危険はないと許可を貰って毎年の水泳の授業を受けていたが、6年生になって、突然安全のために帽子に目印をつけるようにとりボンが渡された。危険はないのに、てんかんというだけで目印を付けさせられたことに、とてもショックを受けた。

寄せられた好事例

- ◆ 震災の避難所で知り合った人たちに、統合失調症だということを伝えましたが、病気があっても私という人間をそのまま受け入れてもらえた。一人の人間として普通に接してくれたことがすごくうれしかった。
- ◆ 施設で地域の活動に参加するにあたって、精神障害のある利用者の方への必要な配慮について、事前に地域の方に説明していた。活動の当日は、必要な配慮をさせていただきながらも、障害者という目で見ずに、地域と一緒に住んでいる住民として、普通に対応してもらえたことに、利用者の方が大変喜んでいました。



高次脳機能障害

交通事故や脳血管障害などの病気により、脳にダメージを受け、記憶障害、注意障害、失語や感情のコントロールができないなどの障害が引き起こされるものです。

症状は脳のどの部分にダメージを受けたかにより様々ですが、後天的な障害のため、これまで出来ていたことが出来なくなったことに対して、本人も周囲も戸惑うことが多くあります。

※高次脳機能障害に関する相談

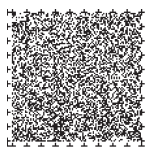
障害者総合支援センター（ウェルポート）など………P.32～参照

必要な配慮等

- 記憶に障害があり、少し前のことを忘れてしまう場合は、言葉だけでなく、仕事のスケジュールや指示などは書面で渡す、メモを利用する。
- 集中力が続かない場合には、こまめに休憩を設定し、複数の仕事を一度に頼まない。
- 失語があり、物の名前を思い出すのに苦労しているような場合は、実物や写真、絵カード、文字などで確認する。
- 仕事などの段取りや予定を立てることが難しい場合には、手順書を利用したり、段取りを掲示するなど、行動の手がかりを用意する。

こんなことで困っています

- ◆ 仕事の予定や約束を忘れてしまうため、「あてにならない」と上司に叱責された。
- ◆ 外見から障害があることが分かりにくいいため、「嘘をついているのではないかなど誤解されやすい。
- ◆ こだわり、怒りやすい、我慢できないなど感情のコントロールが難しい症状について、元々の性格じゃないかと言われ、理解してもらえない。
- ◆ 失語があり、頭の中ではわかっているが、物の名前が言えなくなったり、間違えて言ったりしてしまうため、言いたいことを伝えられない。
- ◆ 長い文章で話しかけられたり、一度に複数の用件を言われても理解できないことがわかってもらえない。
- ◆ 優先順位を考えて、仕事の予定を考えたり、段取りすることが難しい。



難病

難病とは、原因が不明で治療方法が確立されておらず、後遺症を残す恐れが少なくない疾病で、種類は多岐にわたります。

慢性の経過をたどるので、治療等のための経済的な負担のほか、介護に人手を要する場合などには、家族等の身体的、精神的な負担が大きいといわれています。

疾患によって、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害を発現する場合があります。

病気の種類や状態は個人により様々です。

※難病に関する相談

障害者総合支援センター（ウェルポート）など……P.32～参照

事例など

寄せられた好事例

◆会社から、体調が悪い時は、休憩用の部屋で休んでいいと言われ、助かっている。



助かりました！

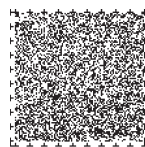


必要な配慮等

- 職場では、本人の体調や通院等に配慮し、出退勤時間・休憩時間等を調整するなどの配慮が必要です。
- 不調時の休憩場所の確保をするなど。

こんなことで困っています

- ◆症状が大きく変動することもあり、1日の中でも、軽い状態の時と重い状態の時があり、周囲に理解してもらいにくい。
- ◆病気をもちながら、仕事を続けていくことが大変。



その他 (災害時)

◎東日本大震災時に、困ったことがあったという事例も寄せられました。

- ◆避難所でアナウンスがあったが、それが聞こえないために物資が得られなかった。(聴覚障害)
- ◆避難所の連絡事項が貼り出されたが、アナウンスがなく、気付かなかった。(視覚障害)
- ◆障害に対する理解が得られず、避難所に居られなくなり、車の中や、壊れた自宅で過ごした。(発達障害、高次脳機能障害他)

など

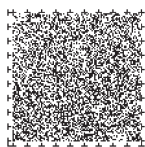


その他 (女性障害者に対する差別)

- ◎障害のある女性は、障害があることに加えて、女性であることで、更に複合的に困難な状況に置かれている場合があることに留意する必要があります。
- ◎障害者団体が行ったアンケートなどでは性的な被害に関する回答が多く見られています。

その他 (事例の募集について)

- ◎「障害を理由とする差別と感じた事例」「障害のある人への配慮に積極的に取り組んでいる事例」を募集しています。寄せられた事例は会議の検討資料や広報物の中で公表する場合があります。



せんだいしけんこうふくしきょく しょうがいきかくかきかくがかり じれいほしゅうたんとう いき
 仙台市健康福祉局 障害企画課企画係 事例募集担当 行
募集用紙【障害を理由とした差別と感じた事例】

1. 障害を理由に「差別された」「嫌な思いをした」「困った」と感じたこと、「そのような場面を見た」などの内容や場面をお書きください。また、嫌な思いをしないで済むような改善の提案がありましたら、あわせてお書きください。
 ※募集した事例は、会議の検討資料や広報物の中で公表する場合があります。

じれい ないよう 事例の内容	かいぜんほうほう 改善方法
※場面や状況をお書きください	

2. 「1」について、どこ（誰）かに相談したところがありますか？

そうだん うむ 相談の有無 (○で囲んでください。)	「あり」の場合、相談したところ
あり ・ なし	

※差し支えない範囲で、お書きください。

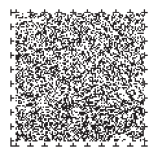
きにゅうしゃ 記入者	1. 障害のある方		2. 障害のある方の家族	
	3. 福祉関係の事業者		4. 福祉関係以外の事業者	
	5. その他 ()			
ねんれい 年齢	さい 才	せいべつ 性別	おとこ おんな 男 ・ 女 ・ その他	
しょうがいしゃさべつかいしょうぼう 障害者差別解消法・条例		じょうれい について		
1. 法律または条例を知っている		2. 知らない		
ねんれい 年齢	さい 才	せいべつ 性別	おとこ おんな 男 ・ 女 ・ その他	
さべつ う ひと 差別を受けた人 (記入者本人のと きは、年齢・性 別の回答不要)	1. 視覚	2. 聴覚	3. 音声・言語・そしゃく	
しょうがい 障害	4. 肢体不自由	5. 内部機能	6. 知的障害	
しゅべつ 種別	8. 発達障害	9. 難病等	10. その他 ()	

と あ さき せんだいしけんこうふくしきょくしょうがいきかくかきかくがかり でんわ
 問い合わせ先： 仙台市健康福祉局障害企画課企画係 電話 022-214-8163

ファクス 022-223-3573 メールアドレス fuk005330@city.sendai.jp

ゆうそう そうふさき けんこうふくしきょくしょうがいきかくがかり
 郵送の送付先： 〒980-8671 健康福祉局障害企画課

(住所の記入は不要です)



仙台市健康福祉局 障害企画課企画係 事例募集担当 行
募集用紙【障害のある方への配慮に取り組んでいる事例】

1. 生活のなかで「こんな配慮があり助かった」「この取り組みを広めてほしい」と感じたこと、また、現在、取り組んでいる配慮や工夫などの内容や場面をお書きください。

※募集した事例は、会議の検討資料や広報物の中で公表する場合があります。

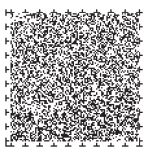
事例の内容（場面や状況をお書きください）

2. 「1」の事例に取り組んでいるところについて

業種など（○で囲んでください。）	事業所名など
1. サービス業関係（飲食・販売・宿泊・その他（ ）） 2. 交通関係 3. 金融関係 4. 不動産関係 5. 医療・福祉 6. 教育関係 7. 官公庁 8. その他（ ）	

※差し支えない範囲で、お書きください。

きにゆうしゃ 記入者	1. 障害のある方 2. 障害のある方の家族 3. 福祉関係の事業者 4. 福祉関係以外の事業者 5. その他（ ）	
	年齢	才
	障害者差別解消法・条例について	
	1. 法律または条例を知っている 2. 知らない	
はいりよなど 配慮等の 取り組みの 対象	しょうがい 障害 しゅべつ 種別	1. 視覚 2. 聴覚 3. 音声・言語・そしゃく 4. 肢体不自由 5. 内部機能 6. 知的障害 7. 精神障害 8. 発達障害 9. 難病等 10. 全障害共通 11. その他（ ）



問い合わせ先：仙台市健康福祉局障害企画課企画係 電話 022-214-8163
 ファクス 022-223-3573 メールアドレス fuk005330@city.sendai.jp
 郵送の送付先：〒980-8671 健康福祉局障害企画課
 （住所の記入は不要です）

(やりとり)

参考

仙台市障害を理由とする差別をなくし 障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例

◎仙台市では、一人ひとりの多様な人格と個性を認め合い、障害のある人もない人も自分らしく、自立と社会参加を実現できる共生のまち・仙台を目指すため、仙台市障害者差別解消条例を制定し、平成28年4月に施行しました。

※障害者差別解消法の改正に伴い、本条例を改正しました。(施行：令和5年10月)

※仙台市の取り組みについては、仙台市公式ホームページを参照

<https://www.city.sendai.jp/kenko-kikaku/sabetsukaisho/torikumi.html>



参考 (仙台市ひとにやさしいまちづくり条例)

◎建物、道路、公園などの施設が年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが使いやすいものとなるよう、これらの施設をつくる際に、バリアフリー※5整備をするよう定めています。

平成8年6月に制定されました。

※仙台市の取り組みについては、仙台市公式ホームページを参照

<https://www.city.sendai.jp/chiikifukushi/kurashi/kenkotofukushi/shogai/kyose/barrier-free/manual.html>

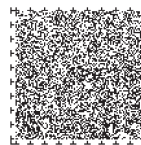


車イスで使えるトイレが街中に設置 された第1号は、仙台市内の百貨店！

障害のある人とボランティアが街の中に出て活動したことがきっかけとなり、全国にさがけて仙台市内の百貨店が店内のトイレを車イスで使えるように改修したのが第1号とされています。



※5の用語の説明………P.31 参照



参考（障害のある人に関するマーク）

障害のある人に配慮した施設であることや、それぞれの障害についてわかりやすく表示するため、いろいろなマークがあります。

障害者のための国際シンボルマーク

障害のある人が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマーク



盲人のための国際シンボルマーク

視覚障害のある人のための世界共通のシンボルマーク



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマーク



ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）同伴の啓発のマーク



ハート・プラスマーク

「身体内部に障害がある人」を表すマーク



オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を造設している人（オストメイト）のための設備があることを表すマーク



身体障害者標識

肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマーク



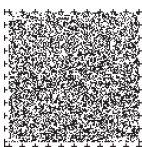
聴覚障害者標識

聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマーク



ヘルプマーク

外見から分からなくても、援助や配慮が必要としていることを表すマーク



参考（用語の説明）

※1 機能障害

心理的、生理的または解剖学的な構造または機能の何らかの喪失、または異常の状態をさす。肢体不自由、聴覚障害、視覚障害、知的障害などの障害、思考、情緒、記憶、感情や気分の障害、てんかんなどの意識の障害、内臓や皮膚の障害などを含む。

※2 社会的障壁

①物理的な障壁

歩道の段差、車イス使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差など

②制度的な障壁

障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限するなど

③文化・情報面での障壁

音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、分かりやすい表示の欠如など

④意識上の障壁

心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえるなど
(心の壁=心のバリア)

※3 ユニバーサルデザイン

性別や年齢、障害の有無に関わらず、全ての人にとって安全で快適、使いやすいことを目指す考え方のこと。その考え方で、製品、建物、空間をデザインすること。

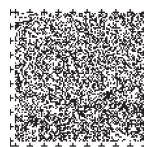
※4 要約筆記

聞こえない方に話の内容、会議の進行、講演の内容などをリアルタイムで文字通訳する、筆記通訳のこと。

要約筆記にはノートテーク（手書き）、OHP（オーバーヘッドプロジェクター）使用の手書き、パソコン要約筆記などがあります。

※5 バリアフリー

障害のある人や高齢の人が社会生活をおくる上で妨げとなっている障壁（バリア）を取り除くこと。



障害のある人に関する相談窓口

◎保健福祉センター（総合相談窓口）

障害のある人の地域での生活を支援するための総合相談窓口です。

名称	電話番号、ファクス番号
青葉区障害高齢課 *	電話 225-7211、ファクス 211-5117
宮城総合支所障害高齢課 *	電話 392-2111、ファクス 392-0250
宮城野区障害高齢課 *	電話 291-2111、ファクス 291-2410
若林区障害高齢課 *	電話 282-1111、ファクス 282-1280
太白区障害高齢課 *	電話 247-1111、ファクス 247-3824
秋保総合支所保健福祉課	電話 399-2111、ファクス 399-2580
泉区障害高齢課 *	電話 372-3111、ファクス 372-8005

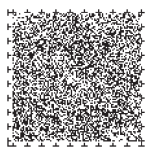
*手話通訳者の配置あり（曜日、時間帯については、各窓口にご確認ください）

◎障害に関する専門相談窓口

それぞれの障害に関する専門相談窓口です。

名称（対象とする障害）	電話番号、ファクス番号
障害者総合支援センター（ウェルポートせんだい） （身体、高次脳機能障害、難病）	電話 771-6511、ファクス 371-7313
北部発達相談支援センター（北部アーチル） （発達、知的、重症心身障害、障害のある児童）	電話 375-0110、ファクス 375-0142
南部発達相談支援センター（南部アーチル） （発達、知的、重症心身障害、障害のある児童）	電話 247-3801、ファクス 247-3819
精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台） （精神障害、こころの悩み）	電話 265-2191、ファクス 265-2190

※身体障害（視覚障害、聴覚障害、盲ろう、肢体不自由、内部障害）



しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ
 ◎障害者相談支援事業所

しょうがいひとやかぞく、ちいきの方などのさまざまなこまの様な困りごとをお聞きして、かいけつ方法を一緒に考えていく、ちいきの相談窓口です。

あおばく
 (青葉区)

めい しょう 名 称	でんわばんごう ばんごう 電話番号、ファクス番号
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ あおば 障害者相談支援事業所 ふらっと青葉	でんわ 電話 265-5320、ファクス 265-5262
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 ほっとすぺーす	でんわ 電話 225-6551、ファクス 212-2520
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 とびら	でんわ 電話 261-3664、ファクス 261-3661

みやぎのく
 (宮城野区)

めい しょう 名 称	でんわばんごう ばんごう 電話番号、ファクス番号
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ みやぎの 障害者相談支援事業所 ハンズ宮城野	でんわ 電話 295-7440、ファクス 295-7440
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 つるがや地域生活支援センター	でんわ 電話 388-4388、ファクス 388-4377
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ みやぎのきらくらぶ ぶらすらいふ 障害者相談支援事業所 宮城野雲母倶楽部+らiふ	でんわ 電話 254-6757、ファクス 254-6757
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 「ホープ」	でんわ 電話 293-1051、ファクス 295-7194

わかばやし
 (若林区)

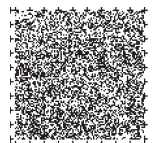
めい しょう 名 称	でんわばんごう ばんごう 電話番号、ファクス番号
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ わかばやし 障害者相談支援事業所 ぴあら若林	でんわ 電話 282-5188、ファクス 282-5188
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 てれんこ	でんわ 電話 716-8152、ファクス 716-8118
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 くれよん	でんわ 電話 282-4671、ファクス 282-4672

たいはく
 (太白区)

めい しょう 名 称	でんわばんごう ばんごう 電話番号、ファクス番号
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ たいはく 障害者相談支援事業所 ハンズ太白	でんわ 電話 308-8834、ファクス 308-8834
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ ひまわり 障害者相談支援事業所 向日葵ライフサポートセンター	でんわ 電話 741-2880、ファクス 741-3735
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 サポートはぎ	でんわ 電話 302-7460、ファクス 746-6882

いずみく
 (泉区)

めい しょう 名 称	でんわばんごう ばんごう 電話番号、ファクス番号
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ いずみ 障害者相談支援事業所 ふらっと泉	でんわ 電話 771-2728、ファクス 771-2730
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 ソキウス	でんわ 電話 718-0768、ファクス 718-0769
しょうがいしゃそうだんしえんじぎょうしよ 障害者相談支援事業所 ピース・スマイル	でんわ 電話 378-3630、ファクス 342-5662



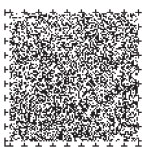
◎その他の相談支援

名 称	電話番号、ファクス番号
仙台市自閉症児者相談センター（ここねっと） ※アーチルと連携して相談・支援を行います	電話 294-0452、ファクス 285-2430
仙台市第二自閉症児者相談センター（なないろ） ※アーチルと連携して相談・支援を行います	電話 343-7485、ファクス 343-7486
仙台市視覚障害者支援センター（アイサポート仙台） ※視覚障害者の方に対し相談・支援を行います	電話 341-1728、ファクス 341-1729
仙台市ひきこもり地域支援センター（ほわっと・わたげ）	電話 285-3581、ファクス 285-7505
仙台市難病サポートセンター ※難病患者の方やご家族の相談・支援を行います	電話 796-9131、ファクス 211-1781
宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）* ※聴覚障害に関するさまざまな情報提供や総合的・ 専門的な相談事業などを行います	電話 393-5501、ファクス 393-5502 【相談専用】電話・ファクス 393-5503

*手話で対応できる相談員がいます

◎就労・雇用に関すること

名 称	電話番号、ファクス番号
仙台市障害者就労支援センター（はたらポート仙台）	電話 772-5517、ファクス 772-5519
宮城障害者職業センター	電話 257-5601、ファクス 257-5675
仙台公共職業安定所（ハローワーク仙台） ※障害者の職業相談・職業紹介、障害者を対象とした 求人（従業員）募集の受理	電話 299-8829、ファクス 299-8823
仙台労働基準監督署 ※労働条件に関する相談 （解雇、賃金未払い、その他労働条件など）	電話 299-9075、ファクス 299-9078
宮城労働局 総合労働相談コーナー ※労働問題に関するあらゆる分野の相談 （労働条件、いじめ、嫌がらせ、募集・採用など）	電話 299-8834



●パンフレットはこちらからダウンロードできます

<https://www.city.sendai.jp/kenko-kikaku/panfu/daremogakurashiyasuimachi.html>



へんしゅう はっごう せんだいしけんこうふくしきよくしょうがいきかくか
編集・発行 仙台市健康福祉局障害企画課
かん しゅう せんだいししょうがいしゃせさくすいしんきょうぎかい さべつじれいけんとうぶかい
監 修 仙台市障害者施策推進協議会 差別事例検討部会
〒980-8671 せんだいしあおばくこくぶんちょう 3-7-1
電話 022-214-8163
FAX 022-223-3573
E-mail fuk005330@city.sendai.jp
へいせい ねん がつ しょはん はっごう
平成27年10月 初版発行
へいせい ねん がつ はん はっごう
平成29年12月 2版発行
れいわ ねん がつ はん はっごう
令和2年3月 3版発行
れいわ ねん がつ はん はっごう
令和5年10月 4版発行
いん きつ だいにけいせんえんいんさつ
印 刷 第二啓生園印刷

